



令和6年度

千代田区立千代田小学校

校長 須藤 敏之
 副校長 丸山 文生
 P T A 会長 小西 敏夫
 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-16
 03(3256)6768 F A X 03(5256)6822
 J R 神田 地下鉄神田、淡路町、小川町、新御茶の水

所在地
 電話
 最寄り駅

児童数と学級編成				6月1日現在					
学年	1	2	3	4	5	6	特支	計	
学級数	2	2	2	2	2	2	3	16	
児童数	男	19	28	27	32	35	31	24	186
	女	28	37	20	33	26	27	8	179
	計	47	65	57	65	61	48	22	365
開校記念日		2月26日							

教育の概要 【学校・地域の特色】

区域は旧神田区と旧麴町区とにまたがる大変広い地域であり、神田駅前商店街や須田町問屋街、大手町・丸の内ビジネス街・有楽町商店街・日比谷公園等を含んでいる。ほとんどの児童は旧神田区から通学しており、近年この地域はオフィスビル化やマンション建設が急速に進んでおり、児童数は増加傾向にある。保護者の教育に対する関心は極めて高く、学校に対しても協力的である。



令和6年度 千代田区立千代田小学校 経営方針

教育目標

やさしく かしく たくましく 未来を築く千代田の子

- 東京都教育委員会教育目標
- 東京都教育ビジョン(第5次)
- 千代田区子育て・教育ビジョン
- 学習指導要領

- 児童の願い・希望・夢
- 保護者や地域の願い、期待
- 神田地域の歴史と伝統

目指す学校像

地域と共に 子どもも大人も成長し 楽しく幸せな一日一日をつくる学校

目指す教師像

子どもの良さや可能性を伸ばし、共に成長しようとする教師

取組の重点

- 「わかった」「できた」喜びと成長を実感できる、楽しい授業
- 一人一人の個性を認め、もてる力と良さを伸ばす支援
- 誰もがチャレンジできる環境整備

やさしく

自他の生命を尊重し、相手を思いやる子

- 偏見や差別、いじめを許さない人権感覚の育成
- 「生活のスタンダード」による学校生活ルールの定着
- 異年齢交流と特別活動の充実による自己肯定感・自己有用感の育成
- 道徳教育、情報モラル教育の充実
- 教育相談の充実、いじめの未然防止、早期発見・対応・解決
- どの子どもにも居場所のある学級づくり
- 地域の人材・文化財活用による地域と学校を愛する心の育成

かしく

自ら学び、考え判断し、表現できる子

- わかった、できた喜びのある授業の実践
- 「学びのスタンダード」による授業規律の定着
- 「特別支援教育スタンダード」を基にした「千代田スタイル」による統一した学習ルールの定着と浸透
- 主体的・対話的な学び、問題解決学習の充実
- 一人一人の状況を把握した個別最適な学びの実践
- 短時間学習を活用した外国語指導の充実と語彙力向上
- 各学習場面に相応しいICT機器の有効利活用

たくましく

心と体を鍛え、最後までやり抜く子

- 運動に親しみ、楽しむ授業の実践
- 体力向上に向けた意図的、計画的な取組(体育朝会、縄跳び、持久走、体力テスト等)
- 外部講師を招聘したコーディネーショントレーニングの推進による運動意欲の向上
- 食育、健康教育の推進
- 安全教育の推進
- 取組成果への激励と評価(賞賛・表彰等)

特色ある教育活動

- 校内研究テーマ「自分の考えをもち、学びの可能性を広げる児童の育成(仮)」の実践
- 伝統文化に触れる活動、地域行事や祭への参加
- 幼・保・小・中との連携
- コミュニティースクールとの連携
- 地域企業・団体との協働学習
- 学校だより・学年だより・各教室だより・ホームページの充実と絶え間ない情報発信、連絡アプリ活用によるタイムリーな情報提供等

Chiyoda style

style1：学習の進め方

1単位時間の学習スタイルで、思考力・判断力を育む。

つかむ(課題把握)

学習のめあてを理解し、
学習の見通しを立てる

今日のめあてが
はっきりしたぞ。



考える(自力解決)

資料を見たり調べたりして、
自分の考えをもつ

こうかなあ。



ここはわからない。

広げる(学び合い)

クラスのみんと学び合う

そんな考えもあるのか。



その考えからいくと
これも考えられる。

まとめ・振り返り

分かったことをまとめる

考えの変容に気付く



答えが
分かった。

もう一度
考えて
書き直して
みよう。

学習の過程をとおして、自分の考えを深めていく

style2：板書

45分間の思考の過程が分かる板書計画を立て、
子どもの「考える」「広げる」をうながす。



つかむ

めあて
本時の学習を端的に表すめあてを設定し、板書する。
キーワードには波線を引くなどして、めあてを明確にする。
問題
学習問題を提示する。

考える

ゆり方
自力解決を図るために、資料の調べ方や一人で考えるための手だてを提示する。

広げる

みんなで話し合う
子どもたちの考えを提示する際には、ミニホワイトボードやICT機器によるノートの提示を活用する。

まとめ

わかったこと
本時の学習に対するまとめを板書する。
ただし、問題
類題を出し、めあてへの理解を確認する。

振り返り

振り返り
本時についての具体的な振り返りを板書する。
振り返りの観点を示す。
観点の例・話し合いで考えたこと・学習に生かしたいこと・友達の良かったところ・自分の考えがわかったこと

style3：相互交流 学び合い

検討場面では三つの相互交流を意識的に使い分ける。

Style A ペアでの話し合い



考えたことをすぐにペアで話し合うことで短時間で考えを交流することができる。

Style B グループでの話し合い



様々な考えを伝え合うことで自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

Style C 全体での話し合い

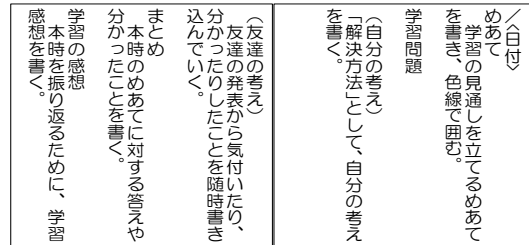


個人やグループの考えを全体に広げることで学びを共有することができる。

style4：ノート

見開き2ページを基本とし、「問題解決の過程や学習の振り返り」が分かるようにする。

枠囲みや筆算など線を引くときは定規を使う。色分けは赤、青鉛筆を使う。



ノートの例

つかむ ← 考える ← 広げる ← まとめる

振り返り

style5：学習のルール

・学習ルールの共通化を図り、学習規律の確立と学習意欲の向上を図る。

学びのスタンダード

千代田小学校「学びのスタンダード」

がっこうで

- じゆぎょうのはじまりのじかんにままります
 - しをよくしてすわります
 - 「このものさし」にあわせた大きさではなします
 - はなしているひとをみて、しずかにききます
 - なまをよばれたら「はい!」とへんじます
- かていで
- ◇ぜんじつにひつようながくしゅうようぐをじゅんびします
 - ◇しゅくだいやかていがくしゅうにとりくみます

・主体的・意欲的に学ぶため、確実に身に付けさせたい学習習慣の根幹となるもの。

生活のスタンダード

千代田小 生活のスタンダード

- ・黄色いぼうしをかぶり、通学路を通して、安全に登下校します。
- ・自分から元気な声であいさつをします。
- ・学校へは、学校生活に必要な物だけ持ってきます。
- ・休み時間のやくそくを守ります。
- ・時間を守って行動します。
- ・ろう下や階段は、静かに右がわを歩きます。

・落ち着いた学習環境をつくるため確実に身に付けさせたい基本的な生活習慣や、態度を育むきまりとなるもの。

特別支援教育スタンダード

特別支援教育スタンダード(授業)

- スタートをそろえる
学習道具、学習内容、指示の出し方等
- 個に応じた活動内容
理解度に合わせて内容を検討する 早くできた児童にも課題を用意する
- スモールステップ化
- 視覚的支援
板書に残す 動画や画像、イラストを活用する
- 一指示一動作
「筆箱を出します」「～ページを開きます」等 一つ一つを区切って指示を出す
- 見通しを示す
「これから3つのことを話します」「今日やることは～です」
①～②～③～のような手順を示す

・誰一人取り残すことなく授業に取り組ませるため、全教員が確実に身に付け、児童を育むきまりとなるもの。

style6：学習環境

・児童が落ち着いて学習に取り組み環境を整える。

教室掲示



- ・実態に応じて掲示板のカーテンを閉める。
- ・背面は学活コーナーや作品掲示・学級目標を掲示する。

机上の整理



- ・机上に用意するもの
教科書
ノート
下敷き
筆箱

補助黒板の活用



- ・補助黒板の活用により、黒板の視覚的な刺激量を減らし、学習に集中できるようにする。

【沿革の概要】

神田小学校

- 明 9. 3. 15 神田多町2丁目21番地に第1大学区第1中学9番公立神田学校開校
- 明 9. 11. 佐柄木町21番地に校舎移転
- 明11. 2. 20 新銀町6番地に新校舎完成
- 明19. 4. 1 神田尋常高等小学校と改称
- 昭 4. 11. 18 鉄筋3階建ての新校舎完成
- 昭22. 4. 1 千代田区立神田小学校と改称

神竜小学校

- 明42. 4. 1 私立柄越尋常小学校と神田尋常小学校、約60名の児童を集めて永富町6番地に東京市一橋尋常小学校開校
- 明44. 9. 11 東京市永富尋常小学校と改称
- 大 6. 1. 1 東京市神竜小学校と改称
- 昭 2. 6. 28 鉄筋3階建ての新校舎完成
- 昭22. 4. 1 千代田区立神竜小学校と改称
- 昭24. 11. 21 特殊学級設置
- 昭34. 4. 7 創立50周年記念式典挙行
- 昭41. 3. 25 閉校式を挙行

合併後の神田小学校

- 昭41. 4. 1 神田小学校と神竜小学校合併
- 昭50. 4. 1 心障学級に情緒障害学級、訪問学級新設
- 昭51. 2. 24 創立100周年記念式典挙行
- 昭52. 12. 2 区研究協力校として「意欲的に自然にはたらかせる子どもの育成」の発表
- 昭60. 11. 9 創立110周年記念式典挙行
- 昭62. 2. 6 文部省・区の国語科研究協力校として「個人差に応じた学習指導」の発表
- 平 2. 11. 22 区研究協力校として「豊かな表現力を育成する指導法の工夫」の発表
- 平 4. 11. 5 全国家庭科研究会東京大会会場校として「家庭科」及び家庭科関連教科「学級活動」「生活科」の授業公開。区研究協力校として「意欲的に実践できる子どもの育成」発表
- 平 5. 3. 28 「さようなら神田幼稚園・神田小学校」の式典、並びに集会を挙行

千桜小学校

- 明 6. 10. 東松下町57番地に第1大学区第1学区3番小学校として桜池学校開校
- 明10. 3. 馬喰町3丁目に第1大学区第1中学区第11番小学校として千代田学校開校
- 明14. 2. 11 桜池小学校焼失により廃校
- 明15. 4. 千代田小学校焼失により廃校
- 明15. 10. 18 千桜小学校開設、もと桜池小と千代田小の児童を收容し、両校名より「千桜」と命名
- 昭 4. 6. 3 鉄筋3階建ての新校舎完成
- 昭22. 4. 1 千代田区立千桜小学校と改称
- 昭47. 12. 1 「ことばの教室」開設
- 昭56. 10. 17 創立100周年記念式典挙行
- 昭60. 4. 1 佐久間小学校との共存の教育開始
- 昭62. 7. 18 佐久間小学校との共存終了
- 昭63. 1. 26 都・区研究協力校として「一人ひとりのよさを発見し、伸ばす評価のあり方の発表」
- 平 3. 11. 2 創立110周年記念式典挙行
- 平 4. 10. 22 区研究協力校として「自ら学ぶ意欲を育てる指導法の研究」の発表

千代田小学校

- 平 5. 4. 1. 学校設置条例の改正にともない千代田小学校となる。(4.6.)開校式
- 平 6. 2. 26. 校歌・校章制定式
- 平 7. 12. 6. 新校舎着工
- 平10. 1. 30. 区研究協力校として「進んで学ぶ千代田の子の育成」の発表
- 平10. 4. 1. 校舎移転 夢の課外授業を実施
- 平13. 1. 19. 区研究協力校として「世界の人々と共に生きていこうとする児童の育成」の発表
- 平14. 3. 16. 夢の課外授業を実施
- 平15. 2. 19. 道徳授業地区公開講座を実施
- 平16. 2. 7. 「創立十周年を祝う会・記念祝賀会」を実施
- 平18. 2. 17. 区研究協力校として「伝え合う力を高め 豊かにかかわり合える子ども」の発表
- 平21. 2. 25. 「創立十五周年記念集会・同窓会」を実施
- 平21. 11. 27. 区研究協力校として「算数科における個に応じた指導の工夫」の発表
- 平25. 12. 13. 区研究協力校として「自分の思いや考えを適切に表現できる児童の育成」の発表
- 平26. 2. 22. 「開校・開園二十周年記念集会・記念祝賀会・記念同窓会」を実施
- 平30. 1. 19. 区研究協力校として「考え 広げ 深める 児童の育成」～思考力・判断力を育む授業づくり～の発表
- 平31. 1. 19 「開校二十五周年記念児童集会」を実施
- 令 4. 2. 18 東京都教育委員会人権尊重教育推進校として「自他を尊重し、認め合う児童の育成～仲間を大切に学びあう授業づくり・環境づくり～」の発表
- 令 5. 12. 2 「千代田小学校・千代田幼稚園 開校・開園 三十周年記念式典 記念祝賀会」を実施
- 令 7. 2. 22 区立研究協力校として「自分の考えをもち、学びの可能性を広げる児童の育成」の発表

永田町小学校

- 明40. 6. 10. 麹町区永田町1-19に東京市永田町尋常小学校校舎建設許可(16学級)
- 明41. 6. 18. 開校式挙行
- 昭12. 10. 18. 新校舎落成式(現校舎)
- 昭22. 4. 1. 東京都千代田区立永田町小学校と改称
- 昭50. 2. 17. 「あたたかい心を育てる指導」の発表
- 昭58. 2. 4. 第1回帰国子女教育研究発表会
- 昭60. 2. 14. 第2回帰国子女教育研究発表会
- 昭62. 2. 10. 第3回帰国子女教育研究発表会
- 平元. 3. 4. 創立80周年記念式典挙行
- 平元. 6. 9. 第4回帰国子女教育研究発表会
- 平 2. 10. 24. 国際教育交流馬場財団より「第一回馬場賞」受賞
- 平 3. 6. 28. 第5回帰国子女教育研究発表会